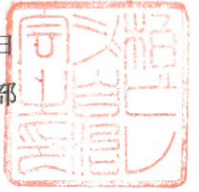


平成元年 10月 22日
防犯防災部



台風 19 号による利根川洪水の状況

利根川は利根川本流に栗橋付近で渡良瀬川、思川が合流し、利根運河の少し上流で鬼怒川が合流し、柏ビレジのそばを通り下流へと流れています。

今回の台風 19 号により、10月 14日 12時までの 72時間に、利根川本流の上流である群馬県西牧野雨量観測所で 496 ミリメートル、渡良瀬川の上流である栃木県葛生雨量観測所で 416 ミリメートルの雨量が観測されています。

この降水により、渡良瀬川が利根川本流に合流する付近にある栗橋水位観測所では最高水位 9.61 メートルが観測され、氾濫危険水位 (8.90 メートル) を 10 時間近く超過するという大規模な洪水が生じました。

また、皆様ご存知のように柏ビレジからさほど遠くない芽吹橋付近でも氾濫危険水位に達しました。

このような大規模な洪水に対し、利根川にある 4 つの遊水池・調整池がよく機能して 4 つの遊水池・調整池合計で過去最大となる合計約 2.5 億立法メートル (東京ドーム約 200 杯) の洪水を貯蓄し、利根川の大規模氾濫を防ぎました。

この 4 つの遊水池・調整池というのは、渡良瀬遊水池・菅生調整池・稲戸井調整池・田中調整池を指し、4 つとも国 (国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所) が管理しています。

渡良瀬遊水池は渡良瀬川・思川の洪水を貯め、利根川への急激な流入を調節するという機能を持っています。

私たちの安全に最も寄与しているのが菅生調整池、稲戸井調整池、田中調整池の 3 つであり、この 3 つの調整池が一体となって洪水を調整し、柏ビレジを含む利根川下流の治水安全を図っているのです。

今回の 19 号台風では渡良瀬遊水池には 1.6 億 m^3 、菅生・稲戸井・田中の 3 調整池合計で 9,000 万 m^3 、合計 2.5 億 m^3 の水が貯まりました。

	稲戸井	田中	菅生	合計
面積 (k m^2)	4.48	11.75	5.92	22.15
容量 (万 m^3)	9,553	3,080	2,850	15,483

菅生・稲戸井・田中の 3 調整池合計の容量は 15,483 万 m^3 ですから、貯水率は 58% でまだ余裕はあったことになります。

田中調整池というのは柏ビレジに最も近く第10支部や自衛隊駐屯地そばの土手から見える場所で、平常時は農地として使用されています。稲戸井調整池は利根川をはさんで田中調整池の対面の守谷地区にあり、菅生調整池は利根運河のそばの鬼怒川が利根川に合流する付近にあります。

利根川の堤防には「越流提」という他に比べ3メートル低い場所が設けられており、大洪水のときにはそこから利根川の水が調整池に流れ込む仕組みになっています。そして洪水が落ち着くと排水門から利根川本流へ戻されるのです。

田中調整池の「越流提」は3つの調整池の中で最も下流である我孫子市に近い場所に設置されています。田中調整池では水は下流で調整池に流れ込み上流に向かって調整池の中を登ってきます。

また今回の雨量でも上記のように3つの調整池ではまだ余裕がありましたが、栗橋付近や芽吹橋付近ではいつ決壊が発生してもおかしくない状況だったそうです。台風は今後益々大型化していくと予想され、上流地域で大きな被害が出る可能性が高いのではないかとされています。

詳細は以下ホームページをご覧ください。

以上

参考資料：利根川上流河川事務所ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>